

【中日新聞 20220825 掲載】



初優勝を決め、喜びを爆発させる東海学院大の選手ら＝いづれも長良川球場で

### 主砲一振り 栄冠に導く

川畑選手 決勝打

白球が前進守備の一盗塁を抜けた瞬間、右手を高く掲げた。同感で迎えた七回、東海学院大の川畑選手の一振りがチームを栄冠に導いた。四番の仕事を果たし、この試合に懸けていた、このチームよりも勝つという強い気持ちがあった。先頭打者が三塁打を放ち、巡ってきた好機。相手右腕の直球に狙いを絞り、初球からいくと決めていた。

たごきけるイメージです。書いて左右と動きます

### 全日本学生軟式野球

## 東海学院大 競り勝ち初V

第四十五回全日本学生軟式野球選手権大会(中日新聞社)は、二十四日、岐阜市の長良川球場で準決勝二試合と決勝があり、東勢の東海学院大(各務原市)は決勝で岡山大に3-1で競り勝ち、初優勝を果たした。

東海学院大は1-1で迎えた七回表、無死一塁の好機で四番の川畑選手(四年)が中前適時打を放ち、勝ち越しに成功。守っては、三投手の連携で相手打線を最少失点に抑えた。

田田智之監督は「うれしい守りの野球で、最後は四番がよく決めてくれた」と喜びをこぼした。

準決勝の第一試合で東海学院大は成蹊大に3-2で勝利。第二試合は、岡山大が愛知大豊橋学舎を6-3で破った。

### 恵那会場

十一月十日から岐阜、一県で開かれる国際自動車(FI)世界ラリー(WRC)の日本ラリーチームエイト、ラリー2022)の恵那がレース会場となす三戦チケッ付き宿営ラ、二十一日正午から発売さORJ)。

市内のタイムズ区間「ヤルチー」とな

【岐阜新聞 20220825 掲載】

## 東海院大 県勢初V



初優勝し喜ぶ東海学院大ナイン＝長良川

### 全日本学生軟式野球

軟式野球の第45回全日本学生選手権(岐阜新聞社)は、岐阜放送後援。最終日は24日、長良川球場で準決勝と決勝を行

い、県勢の東海学院大(県一位)は決勝で岡山大(西日本一位)に3-1で競り勝ち、初優勝した。県勢が頂点に立つのは初めて。

東海学院大は準決勝で成蹊大(首都)を3-2で破り、決勝に進出。決勝では、1-1の七回に川上翔衣(高山西高出)が三塁打を放ち、川畑純輝(県岐阜商高出)の中前適時打で勝ち越し。敵失で1点を加え、三番手の木村俊哉(大垣養老高出)がリードを守った。

表彰では、最高殊勲選手賞に今大会チーム最多の5安打を放った東海学院大の福井友一、最優秀投手賞には今大会無失点の木村が選ばれた。

県関係分

▽準決勝  
成蹊大(首都) 01001100002  
東海学院大(県一位) 000101100x3  
(成) 広瀬 高下  
(東) 青木 中村、木村 川畑  
▽三塁打 星野(成)▽二塁打 福井2(東)  
▽決勝  
東海学院大 1000000200013  
岡山大(西日本一位)  
(東) 青木 中村、木村 川畑  
(西) 小池 出雲 松本  
▽三塁打 川上(東)▽二塁打 飯田(東) 加藤、米栖(西)

4番川畑が決勝打  
4番が初優勝に導いた。東海学院大の4年川畑純輝が七

### 女子は志田千陽 松山奈未 組 雷音龍製薬所 永原和可那、松本麻佑組(北都銀行)若永鈴、中西貴映組(BIPRO

G Y)が2回戦を突破。第2シードの福島由紀、広田彩花組(丸杉)は福島の左ふくらはぎ肉離れのため棄権した。

### 岐阜高専 全国初V

万全備すため発表。成績などは、すべて主催者の方と照合してください。電報に成績の問い合わせはお答えできませんのでご了承ください。

回に決勝の適時打。無死三塁から、外角高めの真つすくを捉え、前進守備の二遊間をしぶとく破った。「引っかけ気味だったが、しっかり振れたので(外野に)抜けた」と笑顔を見せた。

県岐阜商高では、3年の夏前に病気を患い入院。それがきっかけで救急救命士を目指して入学すると、1年から4番を託されてきた。4年生で集大成。この試合に懸けていたと胸を張る。捕手としても3投手を巧みにリードし、甲田智之監督は「ものが違」とたたえた。(野田祐治)